



Hope Care AI

安全で、実務レベルの福祉専用AI

サービス概要資料



AGENDA

資料内容

01 Hope Care AIとは（3つの軸） **P.3**

導入のしやすさ・福祉専用の実務精度・医療福祉水準の安全性という3つの軸で、全体像をご紹介します。

03 安全に使えること **P.10**

個人情報保護法に準拠した安全設計。AI学習に使われない仕組みと、データ管理権の所在を説明します。

05 機能一覧 **P.18**

6カテゴリ・全31機能を、カテゴリごとに機能名と説明でご紹介します。

07 料金プラン **P.29**

初期費用・月額・ユーザー数・AIの録音時間などを、プラン別にご案内します。

02 Hope Care AIの特徴 **P.4**

回答品質を決める「材料×指示」の考え方と、現場特化の仕組み・3大AIを固定費用で使える強みを解説します。

04 主な機能 **P.11**

音声記録・AIリライト・AIチャット・録音・利用者情報・業務テンプレートなど、主要6機能を解説します。

06 AIの精度について **P.20**

「汎用AIに書かせる」との違いを、7つの視点と具体的な活用例（汎用AI vs Hope Care AI）で比較します。

08 導入までの流れ **P.30**

資料請求から無料トライアル・ご契約・初期セットアップまでの流れをご案内します。

WHAT IS HOPE CARE AI

Hope Care AIとは、安全な実務レベルの福祉専用AIです。

Hope Care AIの3つの軸



ITが苦手なスタッフでも翌日から使える

操作ステップを徹底的に削ぎ落としたUI設計。録音ボタンを押して話すだけで記録が完成します。スマートフォン・タブレット対応。ICT経験ゼロでも初日から使え、導入後サポートも充実。

- ✓ AIストリーミング：録音→リアルタイム記録生成
- ✓ 操作ステップを最小化したUI設計
- ✓ スマートフォン・タブレット完全対応
- ✓ 導入後も専任担当が手厚くサポート



介護・障がい・児童対応 実務レベルの福祉専用AI

汎用AIとは違う。介護保険・障害福祉の業界用語を正確に理解し、貴事業所の支援記録や利用者情報をもとにAIが回答します。現場の業務フローに組み込める、即戦力のAIです。

- ✓ 介護保険・障害福祉の用語に対応
- ✓ 貴事業所の支援記録・利用者情報を根拠に回答
- ✓ 音声録音から記録文書を自動生成
- ✓ GPT・Claude・Gemini等を固定費用で利用可能



医療・福祉水準のセキュリティ・ガバナンス

法人データは守られている。API接続方式によりAI学習への利用ゼロ。個人情報保護委員会ガイドラインのクラウド例外を適用した法的根拠のある安全設計。データ管理権はクライアントに帰属します。

- ✓ API接続 → データはAI学習に一切使用されない
- ✓ クラウド例外適合 → 第三者提供に非該当
- ✓ データ管理権はクライアント自身が保有
- ✓ Google for Nonprofits承認法人はWorkspace費用が無料

CHARACTERISTICS

Hope Care AI の特徴。

なぜ、GPT・Claude・Gemini の3大AIエンジンを「固定費用」で使えるのか。Hope Care AI を支える技術的な特徴をご紹介します。

01 材料 × 指示

02 現場特化の仕組み

03 3大AIエンジン

01 / THE FORMULA

AIの回答品質は、「材料」×「指示」で決まる。

情報がどれだけあっても、指示が曖昧なら引き出せません。指示が的確でも、情報がなければ中身は薄いまま。—— Hope Care AI は、その両方を誰でも揃えられるよう設計しています。



01 / 材料が多い

利用者ごとの蓄積データを、いつでも使える。

記録・チャット履歴・作成書類・外部受領書類・録音データが、時系列で自動整理・蓄積されます。



02 / 指示が的確

テンプレートが、指示の質を毎回そろえる。

テンプレートを選ぶだけで的確な指示が自動でAIへ。支援経過まとめ・個別支援計画・モニタリング報告書・ヒヤリハット報告に対応。



誰が使っても、
安定して高品質。



01 / THE FORMULA

「材料」と「指示」が揃うと、何が起きるか。

材料：多い

情報はあるのに
引き出せない

理想状態

誰が使っても
安定して高品質



材料：少ない

そもそも
使えない

指示が良くても
中身が薄い

指示：曖昧

指示：的確

※ 「材料」と「指示」を、誰でも効率的に揃えられる設計そのものが Hope Care AI の特徴です。



02 / HOW IT WORKS

なぜ「現場に特化した」回答ができるのか。

01

福祉領域の専門知識を標準装備

厚生労働省が公開する専門用語などの根拠情報を、あらかじめ標準装備。

02

利用者・支援記録データを蓄積

プロフィール・支援歴・モニタリング・日誌がGoogleドライブに蓄積されます。

03

AI入力時に蓄積データを自動参照

音声・チャット入力を行うと、その利用者に関連する記録を自動で参照。

04

文脈のある記録を即座に生成

支援目標・前回記録との連続性を持った「そのまま提出できる記録」が完成。

05

使うほど精度が向上する

記録が増えるほど精度が向上。導入初日より3ヶ月後・6ヶ月後の方が使いやすくなる。

03 / AI ENGINES

GPT・Claude・Gemini —— 3大AIを固定費用で。



GPT・Claude・Gemini

世界トップクラスの3つのAIを、処理内容に応じて自動で使い分け

月額固定費用内で利用可能

追加の従量課金は発生しません（プランごとの上限時間内）。

AIチャット・音声は無制限

全プランで、AIチャット・AIストーリーミングの利用時間に上限なし。

処理内容で自動使い分け

音声解析・文章生成など、性質に応じて最適なAIをシステムが自動選択。

進化に合わせて将来対応

AIの進化に合わせて、サービスを継続的にアップデートします。

SECURITY & GOVERNANCE

すべては、安全設計の上に。

これらの機能はすべて、個人情報保護法に準拠した安全設計の上に構築されています。



API接続・AI非学習

APIで機能のみ利用。入力データはAIの学習に使われません。



クラウド例外に適合

個人情報保護委員会 Q&A 7-53 の要件を満たし、第三者提供に非該当。



データはお客様に帰属

ファイルデータは法人様のGoogle Workspaceに保存。管理権はクライアントに帰属。記録データはいつでも出力できます。

SECURITY & GOVERNANCE

「AIを使っている」だけでは、個人情報保護法に違反するかもしれません。

個人情報保護委員会は2023年6月、生成AIへの個人データ入力に「法令違反の可能性がある」と注意喚起しています。

**RISK 01**
入力がAIの学習に使われる

無料版ChatGPT等では入力データがモデルの学習に利用され、氏名・支援記録・医療情報が蓄積される恐れ。

**RISK 02**
「第三者提供」に該当し得る

本人同意のない第三者提供は個人情報保護法違反。個人データを外部が扱える状態に置くことは該当の恐れ。

**RISK 03**
「有料版なら安全」もグレーゾーン

オプトアウトはあるが、海外事業者の契約が日本の個人情報保護法を満たすかは専門家でも見解が分かれる。

では、福祉現場はAIを使えないのか。—— いいえ。「正しい設計」で使えば、問題はありません。

COMPARISON — 一般的なAI と Hope Care AI

観点	一般的なAI	Hope Care AI
データの保存先	AI事業者のサーバー	お客様のGoogle Workspace
AI学習への利用	無料版:あり／有料版:グレー	✓ API利用で学習されない
第三者提供	該当の可能性が高い	✓ クラウド例外で非該当
法令適合	個情法 第27・28条のリスク	✓ Q&A 7-53 に準拠
データ管理権	事業者側が保持	お客様が保持
利用者への説明	「データは海外へ送信」	「貴社のドライブ内に保存」

WHY SAFE — 安全な4つの理由

**01**
API接続の設計

AIに直接入力せず、学習に使われないことを規約上も担保。

**02**
クラウド例外に適合

Q&A 7-53 の2要件を満たし第三者提供に非該当。

**03**
データはお客様が保有

ファイルデータは法人様のGoogle Workspaceに保存。管理権はクライアントに帰属。記録データはいつでも出力できます。

**04**
堅牢なGoogle基盤

世界500万組織が採用・国内DC対応・暗号化。

FEATURES

主な機能

01 音声記録

録音ボタンを押して話すだけで、AIが支援記録の下書きを作成

03 AIチャット

利用者ごとの蓄積データを参照し、根拠のある回答を生成

05 利用者情報

情報をひとつの画面に

02 AIリライト

記録を読みやすく整える

04 録音

会議・面談を自動で議事録に

06 プロンプトの業務テンプレート

事業所独自のプロンプトも登録・共有できる

機能 01

音声記録

機能

録音ボタンを押して話すだけで、AIが支援記録の下書きを作成します。話している間もリアルタイムで文字起こしが進み、話し終わると専門用語や書式に沿った形に整います。あとは内容を確認して仕上げるだけです。記録が利用者と職員に紐づいて蓄積します。

メリット

- ✓ ゼロから書く手間がなくなり、記録の時間が大幅に短くなる
- ✓ 書くのが得意でない職員でも一定の水準の記録に
- ✓ 訪問先や現場で、記憶が新しいうちにその場で記録できる
- ✓ 記録が利用者と職員に紐づいて蓄積します



※デモデータを用いたデモ環境の画像です

機能 02

AIリライト

機能

話し言葉のままの入力や箇条書きのメモを、AIが専門用語と書式に沿って読みやすく書き直します。利用人名や事業所独自の言い回しは辞書に登録できます。

メリット

- ✓ 書くのが得意な職員も、そうでない職員も、**同じ水準の記録に揃う**
- ✓ **固有名詞の表記が揺れない**
- ✓ **記録の質のばらつき（属人化）を解消**できる



※デモデータを用いたデモ環境の画像です

機能 03

AIチャット

機能

「あの利用者さん、最近どう？」と自然な言葉で聞くだけで、蓄積された記録を根拠に、出典（記録日付）つきで答えが返ります。

メリット

- ✓ 膨大な記録から必要な情報を探す手間がなくなる
- ✓ 会議・面談前の情報整理が一瞬で終わる
- ✓ 日々の記録の蓄積が“使える知見”になる



※デモデータを用いたデモ環境の画像です

機能 04

録音

機能

会議や面談を録音しておくだけで、文字起こし・要約・決定事項の抽出まで自動で下書きになります。最長120分の長時間録音に対応し、面談は「ニーズ・課題・要望・合意事項」に整理されます。さらに声紋認証で話者を自動識別し、「誰の発言か」まで記録に残せます。

メリット

- ✓ 議事録づくりを会議のあとに持ち帰らずに済む
- ✓ 決定事項・要点の伝達漏れを防げる
- ✓ 前回との差分で支援の変化を把握できる
- ✓ 声紋認証で発言者を自動で識別し、議事録の精度が上がる



※デモデータを用いたデモ環境の画像です

機能 05

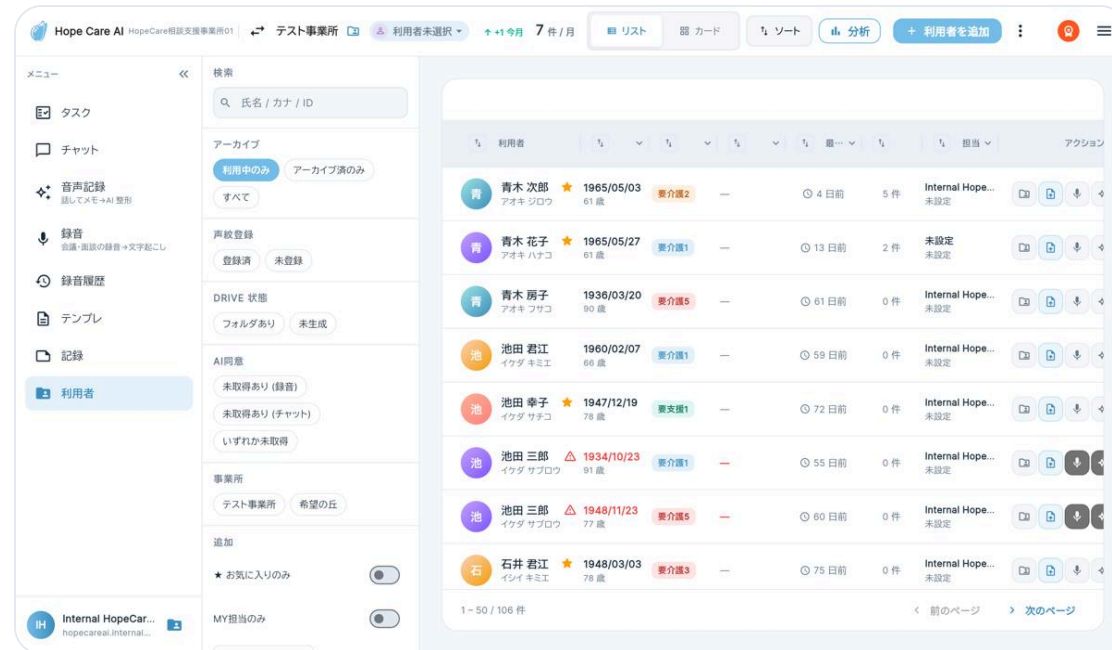
利用者情報

機能

利用者のプロフィール・支援歴・家族連絡先・医療情報・記録が1か所にまとまり、多軸フィルタで過去の記録もすぐ探せます。

メリット

- ✓ 情報が散らばらず、誰が対応しても同じ前提で動ける
- ✓ 記録が集まるほどAIの答えの精度が上がる
- ✓ 複数事業所を法人内で共有できる



※デモデータを用いたデモ環境の画像です

機能 06

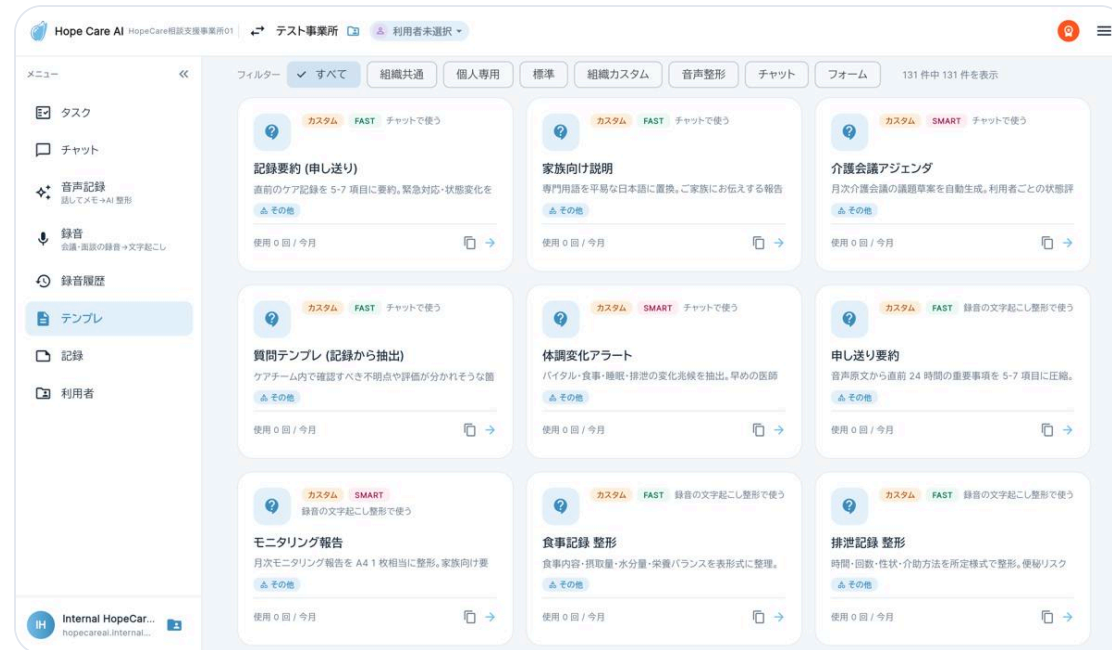
プロンプトの業務テンプレート

機能

モニタリング報告書・個別支援計画・申し送り要約など、よく使う業務のプロンプト（AIへの指示）が10種以上用意されています。選ぶだけで蓄積した記録をもとに下書きが生成され、事業所独自のプロンプトも登録・共有できます。

メリット

- ✓ ゼロから書く時間がなくなる
- ✓ 誰が作っても様式が揃う
- ✓ 事業所ごとの“型”を共有して品質を統一できる



※デモデータを用いたデモ環境の画像です

FEATURES — 1 / 2

機能一覧

音声・録音／AIチャット・テンプレート／記録管理

🎤 音声・録音

🎤 話者識別（声紋認証）

会議の録音から発言者を自動で識別し、「誰の発言か」を記録に残せます。

👤 個別モード／会議モード

一人での記録と、複数人が参加する会議とで、録音の使い方を切り替えられます。

💻 PC音声＋マイク録音

オンライン会議など、PCの音声とマイクの声と同時に録音できます。

✂️ クイック整形テンプレート

用途別に用意された整形テンプレートを選ぶだけで、録音を自動で書式に整えます。

📄 文字起こしパイプライン

文字起こし→日本語補正→整形（任意）の3段階で、精度の高い記録に仕上げます。

🔍 録音履歴の検索・絞り込み

利用者・期間・録音時間・モードなど、条件を組み合わせで過去の録音を探せます。

🗨️ AIチャット・テンプレート

★ 会話履歴の検索・お気に入り

過去のAIとのやり取りをキーワードで検索し、よく使う会話をお気に入り登録できます。

📎 資料ファイルの添付

PDFなどの資料をチャットに添付し、内容について質問できます。

🧩 豊富な業務テンプレート

モニタリング報告書・個別支援計画・申し送り要約など、サービス種別ごとに整理して用意。

✍️ オリジナルテンプレート作成

名称・タグ・公開範囲を指定して、事業所独自のテンプレートを作成・共有できます。

🔗 AI処理方法の使い分け

高速・高品質・画像対応・文字起こし用など、用途に応じて最適なAI処理方法を選べます。

🗨️ 利用者を選ばずに相談可能

特定の利用者に紐づけず、業務全般についてAIに自由に相談できます。

📄 記録管理

🗂️ 表示形式の切り替え

リスト・カード・詳細表示など、見やすい形式に切り替えて記録を確認できます。

📊 記録の分析ダッシュボード

記録数の推移や区分別の内訳、作成方法（録音／手入力／チャット）の割合をグラフで確認。

🔔 注視アラート

記録の内容から、注意が必要な利用者をAIが自動で検知しお知らせします。

⇄ CSVインポート・エクスポート

記録データをCSV形式で一括取り込み・出力できます。

🔍 区分・期間・属性での絞り込み

記録区分や期間、利用者の属性など、複数条件で記録を絞り込めます。

FEATURES — 2 / 2

機能一覧

利用者管理／組織・管理者機能／セキュリティ・データ管理

👤 利用者管理

📄 利用者情報の一元管理

プロフィール・支援歴・関連事業所・医療情報を1つの画面に集約します。

📁 添付資料の自動保存

利用者ごとにアップロードした資料は、Googleドライブのフォルダへ自動で整理されます。

🔍 ワンクリックのクイック操作

資料・録音・AI記録・チャットへ、利用者一覧からワンクリックでアクセスできます。

📊 利用者分析ダッシュボード

利用者層・注視が必要な利用者・担当のバランスなどを可視化します。

🛡️ 声紋登録・AI同意状況の管理

利用者ごとの声紋登録状況やAI利用への同意状況を一覧で確認・管理できます。

📋 組織・管理者機能

📋 複数事業所の一括管理

事業所ごと、または全事業所を横断して、まとめて確認・管理できます。

👤+ ユーザー招待・権限管理

オーナー・管理者・メンバーといった権限を設定し、職員を招待できます。

🕒 操作履歴（監査ログ）

誰が・いつ・何を行ったかを記録し、必要に応じてCSVで出力できます。

📈 利用状況の可視化

事業所別・職員別の利用状況を月次で確認できます。

📖 カスタム固有名詞辞書

事業所独自の専門用語や言い回しをAIに登録し、記録や会話の精度を高めます。

🔧 記録マスタのカスタマイズ

記録の型（様式）を事業所ごとに作成・編集できます。

🛡️ セキュリティ・データ管理

🛡️ AI同意管理

利用者ごとに、AI利用への同意状況を機能単位で管理できます。

↓ データの持ち出し（エクスポート）

契約変更やシステム移行の際にも、必要なデータをCSVで出力できます。

☁️ Googleドライブ連携

記録・資料を利用者ごとのフォルダへ自動で整理して保存します。

ACCURACY / 精度

「汎用AIに書かせる」と 「Hope Care AI に書かせる」は、違う。

汎用AIが出力するのは「それらしい文章」。Hope Care AI が出力するのは、事業所・利用者データを根拠にした“現場で使える”文章です。

「現場で使える精度」を実現する、7つの視点

01 根拠に基づく記録

02 過去の情報を活用

03 担当者・日時まで明確

04 入力・添付なしで使える

05 福祉の法的根拠を活用

06 誰が書いても品質が均一

07 テンプレートで毎回指示しなくていい

ACCURACY — 01 / 根拠に基づく記録

活用例：支援経過のまとめ作成

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「田中さんの今週の様子をまとめて」

【支援経過】今週も田中様は特に変わりなくお過ごしになりました。引き続き支援を継続してまいります。

- ✕ 今週何があったか自分で思い出して伝える必要がある
- ✕ 前回の目標や記録と比較できない
- ✕ 内容が薄く、そのまま提出できない
- ✕ 結局、職員が資料をかき集めて書き直すことになる

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「田中さんの今週の様子をまとめて」

【支援経過まとめ】2026年4月21日～27日 利用者：田中 健太 様
今週はラベル貼り作業で目標80個に対し平均92個を達成。前回モニタリング（4/14）で課題とした「集中力の持続」に明確な改善が見られた。対人交流も活発になり、休憩中に自ら他利用者へ声をかける場面が複数回あった。

- ✓ 日々蓄積された記録・目標値を自動集計して要約
- ✓ 前回モニタリングとの比較も自動で反映
- ✓ そのまま提出・共有できる品質
- ✓ 職員が資料を探し直す必要がない

活用例：個別支援計画の作成

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「田中さんの個別支援計画を作って」

【個別支援計画書】利用者：田中様 計画期間：未定
本人の状態に応じた支援を継続し、生活の質の向上を目指します。目標達成に向け、関係者と連携して取り組みます。

- ✕ 本人の課題やニーズが反映されない
- ✕ 過去のアセスメント結果が使われない
- ✕ 目標値の根拠が示せない
- ✕ このまま計画書として提出できない

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「田中さんの個別支援計画を作って」

【個別支援計画書】利用者：田中 健太 様（就労継続支援B型）作成：鈴木 計画期間：2026年5月～10月
長期目標：一般就労を見据えた作業耐性の向上（本人・家族面談〈2026/3/10〉より設定）
短期目標①：集中時間を30分→60分に延伸（直近3ヶ月の作業記録で平均42分まで改善済み）
短期目標②：対人コミュニケーションの自発性向上（4月以降、他利用者への声かけが週2件観測）

- ✓ 本人のアセスメント・面談記録を根拠に目標設定
- ✓ 直近の実績データから目標値を自動算出
- ✓ 誰が・いつ作成したかが明確
- ✓ そのまま計画書として提出できる品質

ACCURACY — 02 / 過去の情報を活用

活用例：モニタリング報告書

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「山田さんのモニタリング報告書を作って」

【モニタリング報告書】
利用者氏名：山田 様 作成日：○年○月○日
目標達成度：概ね達成できています。今後も継続した支援を行い、利用者の状態に合わせた柔軟な対応を心がけていきます。

- ✕ 支援目標の内容が空欄のまま
- ✕ 達成度の根拠がない
- ✕ 前回との比較・変化が書けない
- ✕ 行政提出書類の書式と合わない

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「山田さんの6ヶ月モニタリングを作って」

【居宅介護支援 モニタリング報告書】2026年4月 担当：中村
短期目標①「週2回の入浴介助に慣れる」→ 達成。1月時点では週1回も拒否があったが、3月以降は拒否ゼロ。声かけ方法を記録から統一した効果あり。
短期目標②「1食あたりの摂取量700kcal以上を維持する」→ 経過観察。3月平均680kcal（前回比+80kcal）。主食の形態を軟飯に変更後、残量が減少傾向。次回（7月）までに700kcal達成を目指し、おやつ追加を検討。

- ✓ 過去6ヶ月の記録から目標達成度を自動集計
- ✓ 前回モニタリングとの数値比較
- ✓ 書式は事業所指定のフォーマットに準拠
- ✓ 次回支援方針の案も自動生成

活用例：ご家族への月次報告

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「ご家族への月次報告書を書いて」

今月も変わらずお元気にお過ごしです。今後もよろしく願いたします。

- ✕ 今月の変化が具体的に書かれていない
- ✕ 前月との比較がない
- ✕ 家族が知りたい情報が抜けている
- ✕ テンプレ的で信頼感がない

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「田中さんのご家族向け月次報告書を書いて」

【4月度 ご家族向け報告】田中 健太 様
先月と比べて、作業への集中力が大きく向上しました（平均作業時間42分→58分）。対人面でも、他利用者へ自ら声をかける場面が増えています（3月:0件→4月:2件）。体調面は安定しており、食事量にも変化はありません。来月は集中時間60分達成を目標に、引き続き支援してまいります。

- ✓ 前月・前々月のデータと比較して変化を説明
- ✓ 定量的な根拠があるので家族に伝わりやすい
- ✓ 過去の記録を遡って傾向を分析
- ✓ 職員の主観ではなくデータに基づく報告

ACCURACY — 03 / 担当者・日時まで明確

活用例：担当者引き継ぎ

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「佐藤さんの引き継ぎ文書を作って」

【担当者引き継ぎシート】
佐藤様は現在、弊施設にてサービスを利用されています。日常的な支援を継続し、ご家族との連携を大切にしながら対応しています。詳細は担当者にお問い合わせください。

- ✕ 具体的な支援内容が何も書かれていない
- ✕ 行動特性・注意事項が反映されない
- ✕ 新担当者が読んでも何もわからない
- ✕ 結局ゼロから書き直しになる

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「佐藤さんの引き継ぎ資料を作って」

【担当者引き継ぎシート】佐藤 誠 様（生活介護） 前担当：山本 → 新担当：伊藤
■ 支援上の注意：急な予定変更に強いストレス反応あり。変更時は前日までに口頭＋メモで伝える。大きな声には委縮するため、指示は穏やかなトーンで1つずつ。
■ 直近の変化：3月中旬より朝の表情が硬く、送迎時に無言のことが増えた。睡眠リズムの乱れが疑われる（記録3/5・3/19参照）。家族へ状況共有済み。
■ 家族連絡：母・佐藤和子様（090-XXXX-XXXX）。毎月第2金曜 15時に電話報告。緊急時は父（勤務先）へ連絡。

- ✓ 過去記録から行動特性・注意事項を自動抽出
- ✓ 直近の変化・気になる出来事も整理
- ✓ 家族連絡先・連絡頻度も引き継ぎに含む
- ✓ 新担当者が初日から動ける情報量

活用例：ヒヤリハット報告書

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「転倒のヒヤリハット報告書を書いて」

【ヒヤリハット報告書】利用者様が転倒しそうになりました。今後は注意して見守りを行います。

- ✕ いつ・どこで・誰が対応したか書かれていない
- ✕ 再発防止策が具体性に欠ける
- ✕ 提出書類として不十分
- ✕ 誰が記録したか残らない

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「山田さんの直近3ヶ月のヒヤリハットを教えて」

過去3ヶ月で山田様のヒヤリハットは3件記録されています。
2026年2月20日：食堂で歩行時のふらつき（職員が支え転倒には至らず）。2026年3月15日：入浴後の脱衣所で軽い立ちくらみ。2026年4月20日：昼食後、椅子から立ち上がる際にふらつき。
直近1ヶ月で頻度が増加傾向。共通して「立ち上がり動作後」に発生しており、声かけ徹底と椅子の高さ調整を継続実施中です。

- ✓ 過去の記録を自動集計し傾向を提示
- ✓ 頻発パターン（立ち上がり動作後など）を自動抽出
- ✓ 対応履歴もあわせて確認できる
- ✓ 家族連絡状況も記録に反映される

ACCURACY — 04 / 入力・添付なしで使える

活用例：急な問い合わせ対応

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「田中さんについて教えて」

すみません、「田中さん」について詳しい情報がないため、お答えできません。お手数ですが、経過記録やプロフィールの情報を貼り付けていただけますか？

- ✕ 質問のたびに背景情報を入力し直す必要がある
- ✕ ファイル添付を忘れると回答できない
- ✕ 過去のやり取りが引き継がれない
- ✕ 現場ですぐに使えない

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「田中さんについて教えて」

田中 健太 様、61歳、就労継続支援B型利用中。直近1ヶ月で作業効率が10%向上し、対人交流も改善傾向にあります。前回の担当者会議（4/14）では集中力の持続が課題として挙げられていましたが、その後の記録では明確な改善が見られます。

- ✓ 利用者を伝えるだけで蓄積データから自動回答
- ✓ ファイル添付や情報の再入力が必要
- ✓ 電話対応中でもその場で確認できる
- ✓ 現場のスキマ時間でそのまま使える

活用例：個別支援計画の更新（前回計画との比較）

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「田中さんの個別支援計画を更新して」

前回の計画書を確認できないため、詳細な更新はできません。前回作成分のファイルを添付してください。

- ✕ 前回の計画書を毎回添付する必要がある
- ✕ 添付を忘れると比較ができない
- ✕ ファイルを探して添付する手間がかかる
- ✕ 改善点は職員が読み比べて書き出す必要がある

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「田中さんの個別支援計画を更新して」

【個別支援計画書 改定版】田中 健太 様（就労継続支援B型）作成：鈴木 計画期間：2026年5月～10月
前回計画（2026年2月作成）の短期目標「集中時間30分→45分」は、直近3ヶ月の記録で平均48分まで到達し達成。今回は新たな目標として「集中時間60分」を設定します。

- ✓ 前回の計画書を添付しなくても内容を把握している
- ✓ 前回との比較・改善点を自動で明示できる
- ✓ ファイルを探す・添付する手間がゼロ
- ✓ 前回目標の達成状況を踏まえた次の目標を提案

ACCURACY — 05 / 福祉の法的根拠を活用

活用例：加算算定根拠の確認

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「個別支援計画加算は算定できますか？」

詳しい算定要件については、自治体や専門家にご確認ください。

- ✕ 制度の根拠を示せない
- ✕ 自事業所の記録が要件を満たすか判断できない
- ✕ 結局、職員が自分で調べ直すことになる
- ✕ 算定漏れ・返還リスクに気づけない

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「田中さんの個別支援計画加算は算定できる？」

個別支援計画加算の算定要件（本人・家族参加のもとでの計画作成、6か月に1回以上の見直し）を確認したところ、田中様は3/10に本人・家族同席の面談記録があり、計画も同日付で作成済みのため要件を満たしています。前回の見直しは昨年11月のため、次回は5月中の実施が必要です。

- ✓ 加算算定要件と記録を照合して判定
- ✓ 法的根拠（算定要件）を明示して回答
- ✓ 見直し期限などのリスクも自動で警告
- ✓ 算定漏れ・返還リスクを事前に防げる

活用例：制度改定への追従

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「今年の報酬改定の内容を教えてください」

具体的な改定内容についてはお答えできません。最新情報は厚生労働省のホームページをご確認ください。

- ✕ 改定情報が古い可能性がある
- ✕ 自事業所への影響を自分で調べる必要がある
- ✕ 算定要件の変更に気づかず算定ミスリスク
- ✕ 最新情報へのキャッチアップに時間がかかる

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「今年の報酬改定で当事業所に関係する変更点は？」

2026年度改定において、就労継続支援B型の基本報酬体系に変更あり。貴事業所（平均工賃実績を参照）の場合、区分が変更となり4月分から算定額に影響。
個別支援計画加算の算定要件も見直しあり、6か月ごとの見直し記録が必須に。

- ✓ 最新の制度改定情報を随時反映
- ✓ 自事業所の状況に即した影響を提示
- ✓ 算定要件変更の見落としを防止
- ✓ 制度情報のキャッチアップ工数を削減

ACCURACY — 06 / 誰が書いても品質が均一

活用例：新人職員による支援経過のまとめ作成

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「新人スタッフです。田中さんの今週の様子をまとめて」

【支援経過】今週も田中様は特に変わりなくお過ごしでした。
(経験の浅い職員がまとめると、内容が抽象的になりがち)

- ✕ まとめの粒度が職員によってバラバラ
- ✕ 書式や表現が統一されない
- ✕ 上長のチェック・修正が都度必要
- ✕ 育成に時間がかかる

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「田中さんの今週の様子をまとめて」

【支援経過まとめ】2026年4月21日～27日 利用者：田中 健太 様 担当：伊藤（入社2週間）
今週はラベル貼り作業で目標80個に対し平均89個を達成。前回モニタリング（4/14）で課題とした「集中力の持続」に改善が見られた。

- ✓ 経験年数に関わらず同じ精度でまとめが生成される
- ✓ テンプレートがAIの処理ロジックを統一しているため書式・粒度がブレない
- ✓ 上長のチェック負担が減る
- ✓ 新人でも即戦力としてまとめを作成できる

活用例：シフト交代時の引き継ぎ記録

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「山田さんの引き継ぎを書いて」

【引き継ぎメモ】山田様、特に変わりなし。よろしくお願いします。

- ✕ 引き継ぎの粒度が担当者によって差がある
- ✕ 重要な注意点が抜け落ちることがある
- ✕ 新しい担当者が状況を把握しづらい
- ✕ 情報の統一フォーマットがない

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「山田さんの引き継ぎを書いて」

【担当者引き継ぎシート】山田 花子 様 前担当：中村 → 新担当：佐藤
■ 注意事項：立ち上がり時のふらつきあり、声かけ徹底。
■ 直近の変化：3月中旬より食欲やや低下。
■ 家族連絡：毎月第2金曜15時に電話報告。

- ✓ 誰が作成しても同じ粒度の引き継ぎ情報が出力される
- ✓ 注意事項や直近の変化が漏れなく含まれる
- ✓ 新担当者が初日から状況を把握できる
- ✓ 属人化を防げる



ACCURACY — 07 / テンプレートで毎回指示しなくていい

活用例：定型の週次まとめ作成

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「田中さんの今週の様子をまとめて。形式は【支援経過】で始めて、利用者名と対象期間を書いて、目標比較も含めて…」

今週も田中様は変わらずお過ごしでした。

- ✕ 毎回同じ指示文を入力する手間がかかる
- ✕ 指示を忘れると出力形式がブレる
- ✕ 職員ごとに指示の書き方が違うと出力もブレる
- ✕ 入力の手間が積み重なる

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「(「支援経過まとめ」テンプレートを選択して) 田中さんの今週の様子をまとめて」

【支援経過まとめ】2026年4月21日～27日 利用者：田中 健太 様 担当：伊藤
今週はラベル貼り作業で目標80個に対し平均90個を達成。対人交流の場面も増え、意欲の向上がうかがえる。

- ✓ 指示文を毎回考える必要がない
- ✓ テンプレートを選ぶだけで完了
- ✓ 職員間で出力形式が統一される
- ✓ 入力の手間が大幅に減る

活用例：書類の種類ごとの使い分け（報告書／引き継ぎ書など）

✕ 汎用AIに依頼した場合

入力 「モニタリング報告書用に、書式を変えて、目標達成度も含めて、行政提出用のフォーマットで…」

【モニタリング報告書】利用者様は概ね順調に経過しています。

- ✕ 書類の種類ごとに指示をゼロから組み立てる必要がある
- ✕ 指示が長く複雑になりやすい
- ✕ 書類によって職員の指示スキルに差が出る
- ✕ 慣れるまで時間がかかる

✓ Hope Care AI に依頼した場合

入力 「(「モニタリング報告書」テンプレートを選択して) 山田さんの報告書を作って」

【モニタリング報告書】山田 花子 様 2026年4月度 担当：中村
短期目標①「入浴時の見守り軽減」→達成。声かけの回数を週5回から週1回に削減できた。
短期目標②「食事の自力摂取」→経過観察。介助の頻度は週3回から週1回に減少傾向。

- ✓ 書類の種類に応じたテンプレートを切り替えるだけ
- ✓ 複雑な指示を考える必要がない
- ✓ どの職員でも同じ手順で作成できる
- ✓ 新しい書類にもすぐ対応できる

ALL-IN-ONE

HopeCareAI ひとつで、すべて完結。

従来は、機能ごとに別のツール



3大AI

ChatGPT

Gemini

Claude

最先端の生成AIで、文章作成・要約を高精度に。



議事録AI

会議・面談を録音するだけで、文字起こしから議事録化・要点整理まで自動。



記録ソフト

音声入力でケース記録、モニタリングを効率化。



福祉専門AI

福祉の専門用語・制度に沿って記録をリライト。



ALL-IN-ONE

HopeCareAI

これ1つで、4種類すべてをまかなえます。



3大AI 搭載

ChatGPT・Gemini・Claude を福祉業務向けに最適化し、用途で自動使い分け



議事録AI

録音するだけで議事録を自動作成・要点整理



記録

音声ケース記録からモニタリングまでを効率化



福祉専門AI

専門用語・制度に沿った記録のリライト

その機能、HopeCareAI に全部あります。

PRICING

料金プラン

スターター

初期費用 ¥500,000

¥50,000 / 月

ユーザー数	5名
AIの録音時間	100時間/月
AIチャット	無制限
音声記録	無制限
利用者管理	○
職員管理	○
記録管理	○
Google Workspace	※無料

おすすめ

スタンダード

初期費用 ¥500,000

¥70,000 / 月

ユーザー数	10名
AIの録音時間	300時間/月
AIチャット	無制限
音声記録	無制限
利用者管理	○
職員管理	○
記録管理	○
Google Workspace	※無料

エンタープライズ

初期費用 ¥1,000,000

¥100,000 / 月

ユーザー数	20名
AIの録音時間	1,000時間/月
AIチャット	無制限
音声記録	無制限
利用者管理	○
職員管理	○
記録管理	○
Google Workspace	※無料

※ 全プランで、AIチャット・AIストリーミングの利用時間に上限なし。

※ 税別・事業所単位の固定料金。複数事業所をお持ちの場合は事業所ごとに費用が発生します（法人内でのデータ共有は可能）。Google Workspaceは通常 月額950円ですが、Google for Nonprofits承認法人は無料で利用できます。

ONBOARDING

導入までの流れ

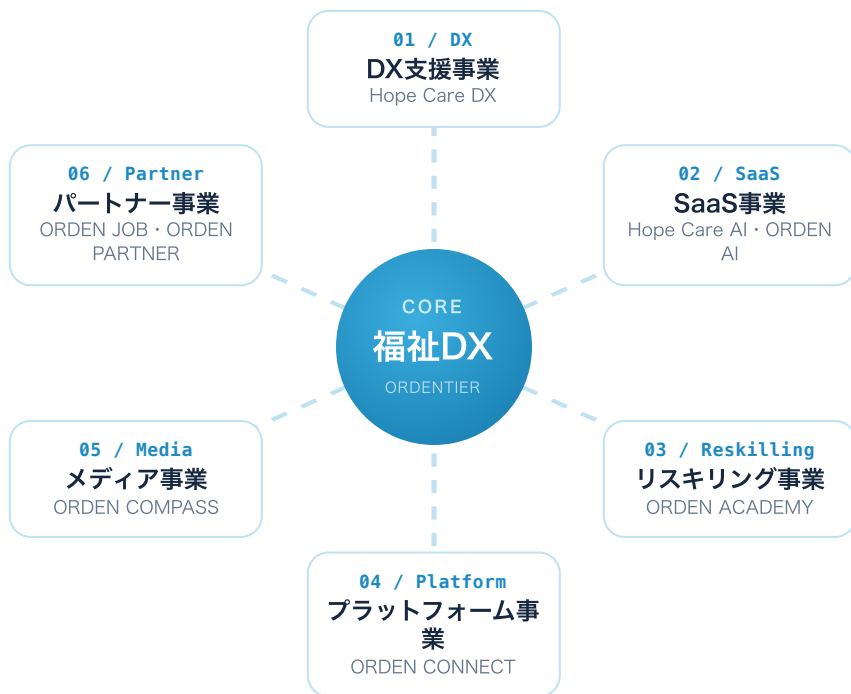
資料請求後、無料デモと14日間の無料トライアルを経てご契約。ご契約後は初期セットアップ（Google for Nonprofits審査期間を含む）を経て、運用開始となります。



COMPANY — 事業とネットワーク

事業とネットワーク

BUSINESS 事業エコシステム



LOCATIONS 拠点



01 / Headquarters

神戸本社

〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通4丁目1-6 ケーニヒス
クロネ本社ビル 7F



02 / Branch

大阪支社

〒541-0046 大阪府大阪市中央区平野町4丁目5-7
M.BALANCE+ YODOYABASHI 6F



03 / Branch

鹿児島支社

〒892-0842 鹿児島県鹿児島市東千石町5-12 CUBE BLDG
5F

まずは無料デモで、 実際の動きを。

導入の流れ・費用・セキュリティについても、デモの中でご説明します。
担当者より3営業日以内にご連絡いたします。

WEB

hope-care-ai.ordentier-
corp.co.jp

TEL

050-1726-6156

EMAIL

info@ordentier-corp.co.jp

